



2018年10月3日

世界銀行
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

世界銀行「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」の販売を通じた
社会的責任投資への取り組みについて
～海洋汚染等のグローバルな課題解決への貢献～

世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）及び三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、国内個人投資家を対象とするサステナブル・ディベロップメント・ボンド（世銀債）の発行・販売を行いますのでお知らせします。今回発行される債券は「世界銀行2021年10月12日満期 円償還条項付 円／米ドル為替連動 米ドル建債券」です。

サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減及び開発支援のために取り組む、教育・保健・インフラ・行政・農業・環境・女性の社会進出等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために発行されます。投資いただいた資金は、開発途上国の持続的発展を目的とするプロジェクトへの融資案件に活用されます。世界銀行は2030年までに「極度の貧困を撲滅」し、「繁栄の共有の促進」を持続可能な形で実現することを使命としており、この2つの目標は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」とも連携しています。

国際社会において私たちは、海洋プラスチックによる海洋汚染、生態系の破壊等の深刻な問題に直面しています。海は人類の重要な食糧供給源であり、世界の経済活動においても重要な役割を果たしています。世界銀行は加盟国と共に、海と沿岸海域の環境回復を目指すプロジェクトやプログラムの実施を通じて、国際的な課題となっているプラスチックごみ問題に対する人々の意識を高める取り組みも行っています（詳細別紙）。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、サステナブル・ディベロップメント・ボンドの販売を通じ、投資を通じた社会貢献を願う投資家の皆様と世界銀行の取り組みの橋渡し役を担い、社会的責任投資の推進と持続可能な開発目標（SDGs）に貢献してまいります。

以上



世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行）について

世界銀行（国際復興開発銀行、通称 IBRD：International Bank for Reconstruction and Development）は、1944年に設立が合意された国際開発金融機関で、現在189の加盟国が出資し運営しています。加盟国の公平で持続可能な経済成長を目指し、地域及び世界規模の経済や環境問題に効果的に対処していくために、世界銀行は中所得国に対し、融資・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。世界銀行の目標は、世界全体の極度の貧困を終結し、すべての人々が共に豊かに暮らせるよう繁栄の共有を実現することです。世界銀行は融資資金を調達するために、70年以上にわたり国際資本市場で世銀債を発行しています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券について

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、個人・法人等の幅広いお客様にご満足いただけるよう、「MUFGグループの中核総合証券会社」及び「モルガン・スタンレーとのジョイントベンチャー」という固有の強みを活かし、他社にないグローバルで多角的な視点と高いクオリティとを兼ね備えたソリューションを提供しています。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、三菱UFJモルガン・スタンレー証券は責任ある証券会社としての責務を果たし、環境や社会との共生、経済・企業との安定的な成長共有の観点から、関連する債券の引受けを一層推進すると共に、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。





「持続可能な開発目標（SDGs）」について

2015年、国連サミットにて国際社会の新たな目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。国連の全加盟国は本アジェンダをもとに、全ての人々に平等な機会を与え、かつ次世代のために地球環境を保護することを目的とし、2030年までに貧困や飢餓・エネルギー・気候変動・平和的社会等、17の具体的な目標の達成を目指します。日本政府も施策を展開しながら様々なステークホルダーと連携し、目標達成に向け積極的に取り組んでいます。

(別紙)

■世界銀行が取り組む「水と海洋の問題対策支援」プロジェクト事例

<p>インドネシア：地域・都市部における廃棄物管理改善プロジェクト</p>	
<p>インドネシアでは、都市部の人口が増加し観光業が急速に伸びていますが、下水道設備やゴミ回収等のインフラサービスの提供が課題となっています。回収されないゴミが排水溝や下水道に入り込んで洪水の原因となっており、年間 800 万トンのプラスチックが海へ流出していると推定されています。これらは世界の漁業や人間の健康に危険を及ぼします。</p> <p>本プロジェクトでは、規制改善やモニタリング、リサイクルプログラムの設計等、都市部の廃棄物管理の強化を支援します。ゴミ回収増加、埋め立て地の拡大、リサイクルの拡大、海洋プラスチックゴミの 50%の削減等を目指します。</p>	 <p>©World Bank</p> <p>世界銀行融資額:1 億米ドル 詳しくはこちらをご参照ください。(英語) http://projects.worldbank.org/P157245/?lang=en&tab=overview</p>

<p>アルゼンチン：マタンサ・リアチュエロ川流域の水質改善支援プロジェクト</p>	
<p>約 64 kmに及ぶマタンサ・リアチュエロ川は、100 年以上にわたり工業廃棄物及び汚水により、世界で最も汚染された川の 1 つです。本プロジェクトは、マタンサ・リアチュエロ川流域とブエノスアイレス州の市と地域における下水処理の改善、中小企業への交付金による河川への産業汚水の排出を削減します。</p> <p>また、環境に配慮した土地の利用と排水計画の促進、継続的かつ持続可能な川の浄化のための制度強化等も支援します。汚水処理設備と清潔な水へのアクセスの改善、河川産業の協力により、その地域に住む 7 百万人の人々（うち 10%以上が貧困層）の健康的な生活の実現を目指します。</p>	 <p>©World Bank</p> <p>世界銀行融資額:8 億 4,000 万米ドル 詳しくはこちらをご参照ください。(英語) http://projects.worldbank.org/P105680/?lang=en&tab=overview</p>

*投資資金は、世界銀行の信用力をもって利払い・償還がされます。上記個々のプロジェクトと今回の世銀債の資金は直結しておりませんので、投資家が個々のプロジェクトのリスクを負うことはありません。